

水の恵みを未来へつなぐ肥後銀行の取り組み

～自然資本と共に生きる地域価値共創の挑戦～



肥後銀行



九州フィナンシャルグループ

九州フィナンシャルグループ

本店所在地（登記住所） **鹿児島市金生町6番6号**

本社所在地（本社機能） **熊本市中央区練兵町1番地**

総資産 **13.2兆円**

設立日 **2015年10月1日**

**今年
10周年!!**

<地方銀行総資産ランキング>

順位	銀行名	総資産（兆円）
1	ふくおかフィナンシャルグループ	32.2
2	コンコルディアフィナンシャルグループ	24.7
3	千葉銀行	21.6
4	めぶきフィナンシャルグループ	21.4
5	ほくほくフィナンシャルグループ	16.4
6	しずおかフィナンシャルグループ	15.7
7	西日本フィナンシャルホールディングス	13.5
8	八十二銀行	13.5
9	九州フィナンシャルグループ 肥後銀行・鹿児島銀行	13.2
10	山口フィナンシャルグループ	12.9

（2024年度地銀協データより）

肥後銀行

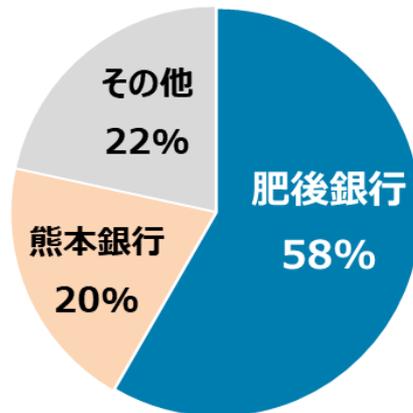
預金 **5.5兆円** 貸出金 **4.7兆円**

拠点数 **126**（本支店119、出張所5、海外事務所2）

従業員数 **2,209人**

自己資本比率 **10.92%**

2024年度熊本県のメインバンク割合



**今年
100周年!!**



（出所：帝国データバンク資料）



阿蘇「大観の森」での植樹

水源涵養林の育成のため、累積16ヘクタール、15万本以上の植樹を実施。(2006年～)



植樹・紅葉祭風景



自然共生サイト登録予定 「阿蘇水掛の棚田」での稲作

耕作放棄地を利用し棚田を再生し、農業による水田湛水事業を実施。(2011年～)



田植え風景

社会的投資収益率
(SROI : Social Return on Investment)

涵養量(世帯数4,760分)を貨幣価値に換算
1≧であればポジティブなインパクト

7.2 (5年平均)

累計23,000人以上の行員がボランティア参加

生物多様性保全の取り組みの全体像

世界

2022年
賛同

Task Force for **N**ature-Related **F**inancial **D**isclosure
(自然関連財務情報開示タスクフォース)



⇒2024年1月 九州FGにてアーリーアダプト

国内

J B I B
(民間団体)



2022.4加入

30by30
アライアンス
(環境省)



2023.5加入

民間主導での生物多様性保全の貢献を目指すイニシアティブ。三井住友海上が代表理事を務める。

30by30目標達成に向け、保護地域の拡充とともに、保全されてきたエリアをOECDとして認定する取り組みを進めるため、環境省が中心となって発足

熊本

自然共生
サイト登録
予定

2006年～



阿蘇 (県東部)
大観の森での植樹・棚田での稲作

2021年～



人吉球磨 (県南部)
緑の流域治水プロジェクト

2024年～



芦北町 (県南部)
アマモ場再生・ブルーカーボン創出

「地域共創流域治水」と「雨庭」

令和2年7月豪雨

<主な被害状況>

住宅全壊 1,490棟
半壊 3,098棟
被害総額 5,222億円

熊本県「令和2年7月豪雨の記録と復興への歩み」より
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/206/226255.html>



地域住民が安心して住み続けられる
治水・復興対策が課題

「地域共創流域治水」

「**緑の流域治水**」を中心とした復旧・復興
熊本県立大学、熊本県、肥後銀行が中心となり
地域共創拠点を設立

- 河川カメラの設置
- 「緑の流域治水スタディツアー」の企画・販売
- 「**雨庭**」の設置



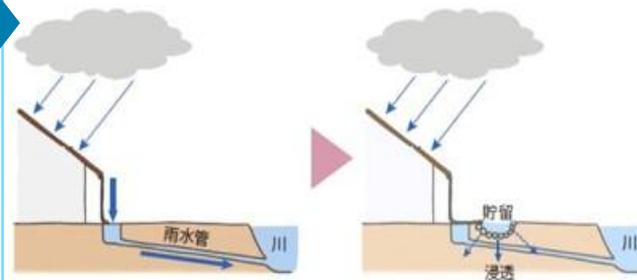
自然と調和しながら洪水リスクを軽減

「雨庭」の取り組み

- 「雨庭」は雨水を貯留・浸透させることで、水が一気に河川へ流れ込むことを防ぐ**洪水抑制技術**
- また雨水を地下に浸透させ、**地下水涵養の効果**がある

従来的場合

雨庭を設置した場合



自治体、教育機関および企業等への
啓蒙・普及を通じ広く参加者を募る

産学官金連携により、雨庭などのグリーンインフラを用いて水循環の保全に取り組む
—「熊本ウォーターポジティブ・アクション」へ取り組みが拡大—

- **雨庭**は、雨水を一時的に貯留し、地面に浸透させることで**流出量を抑制する洪水抑制技術**
- 屋根などに降った雨は雨水管を通り川に流れていくが、**雨庭に貯留・浸透させることで水が一気に河川などに流れ込むことを防ぎ、地下水涵養効果もある**

■ 窪地型雨庭：流出抑制、地下水涵養

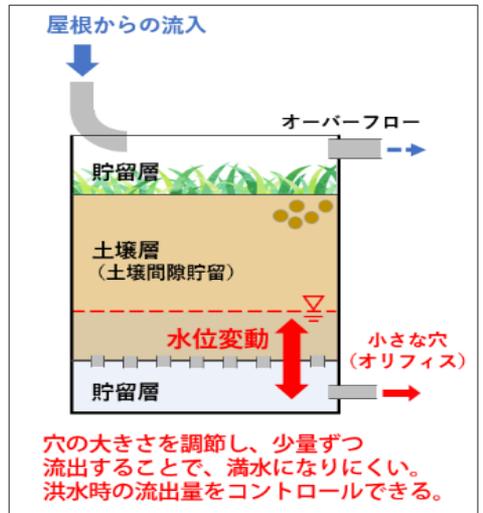


【写真】熊本県立大学の窪地型雨庭

■ プランター型雨庭：流出抑制・時間差効果



【写真】肥後銀行免田支店のプランター型雨庭



- ◆ 県内に**2030年までに2030箇所の雨庭の整備**を目標
- ◆ 任意団体「くまもと雨庭パートナーシップ」を2023年5月設立
- ◆ **自治体、教育機関および企業等**へ普及啓発を通じて広く参加者を募る

2025年3月20日 「熊本ウォーターポジティブ・アクション」始動

主催：肥後銀行、熊本県立大学、熊本大学、サントリーホールディングス、日本政策投資銀行、MS&ADインシュアランスグループホールディングス

地下水保全に取り組んできた様々な主体が「協働」

目的

自然の機能やしきみを活用して（グリーンインフラ）、地域の自然を守り、活かしながら、健全な水循環が豊かな市民生活と地域経済を支える「水の国くまもと」のさらなる発展を目指す



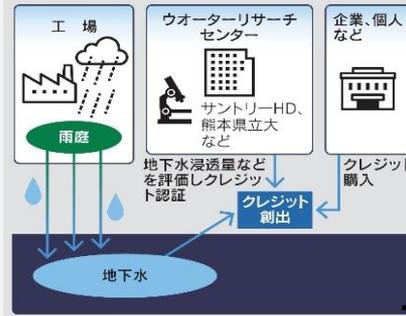
熊本県・熊本市・環境省・国土交通省も参加

産官学が連携し、グリーンインフラの普及の促進



ウォータークレジットの創出を目指す取り組みへ挑戦

地下水涵養によるウォータークレジットの仕組み



活動実績

2024年度、芦北町、芦北高校、芦北町漁業協同組合、鹿島建設、肥後銀行、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金の6者が連携し、**アマモ場の再生、ブルーカーボンの創出及び環境教育等の取り組みを実施**

自然共生サイト登録予定

アマモ場再生活動



出前授業



連携協定締結



Jブルークレジット取得 (2025年3月)



**熊本県初
金融機関初
31トン**

当行がクレジット販売を仲介し、得た資金は保全活動へ

預金・融資の両面で環境保全、社会課題解決に資する商品を拡充

【預金】

累計実績：約2,200億円

商品名 **サステナビリティ定期預金**

寄付先 環境保全、社会活動に取り組む団体へ寄付

**くもと雨庭
パートナーシップ**

**公共財団法人
くもと地下水財団**

一般社団法人熊本県
こども食堂ネットワーク

社会福祉法人熊本県
ひとり親家庭福祉協議会

(その他の預金商品)

商品名 **阿蘇グリーン定期預金、肥後銀行グリーン預金、
ポジティブ・インパクト預金**

【融資】

累計実績：約1,100億円

商品名	ひぎんSDGs サポートローン	ひぎん環境 サポートローン	住宅ローン 通年プラン
金利 優遇	①熊本県SDG s 登録企業 ②当行SDG s コンサル企業 ③脱炭素経営へ取り組む企業 ④ 雨庭認定企業		適用要件へ追加 ① 熊本県産木材 使用住宅 ② 雨庭設置住宅

持続可能な社会の実現に貢献するため、
金利優遇条件へ**「雨庭認定」**を追加

(その他の融資商品：国際的な原則に基づく商品)

商品名 **サステナビリティ・リンク・ローン、ポジティブ・インパクト・ファイナンス、グリーンローン、ソーシャルローン、トランジションファイナンス**

以上